

令和7年度 指定管理者事業評価書

1 施設の概要

施設名	白石市文化体育活動センター		
所在地	白石市鷹巣東二丁目1番1号		
制度導入年月	平成20年4月	所管課	まちづくり推進課

2 指定管理者の概要

指定管理者	白石市文化体育振興財団		
所在地	白石市鷹巣東2丁目1番1号		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	年数	5年
選択方法	非公募	指定管理料	期間合計 644,500,000円
受託区分	更新		令和7年度 128,900,000円

3 利用実績

単位：人

施設利用者	R3	R4	R5	R6	R7
目標数					
実績数	108,156	139,814	143,748	139,852	155,572

4 収支実績

単位：円

収入	予算	実績
指定管理料	128,900,000	128,900,000
利用料収入	29,733,000	30,651,461
その他の収入	1,050,000	1,153,043
合計	159,683,000	160,704,504
支出	予算	実績
人件費	67,566,000	60,708,158
事業費	43,381,000	43,336,181
事務費	47,791,000	44,308,594
合計	158,738,000	148,352,933
収支	945,000	12,351,571

5 指定管理者による自己評価

評価	コンサートホール事業、アリーナ事業とも計画通りにイベントを開催できた。貸館事業では、特にアリーナを中心に大規模なバスケットボール大会等の誘致ができ、利用者は昨年度を上回る結果となった。また、関係団体と連携を図りながら、各種教室事業、生きがいデイサービス事業、総合型地域スポーツ文化クラブ事業などに取り組み、市民の芸術文化の向上及びスポーツの振興を図り、市民福祉の増進に寄与した。
今後の目標	引続き、大規模なイベントなどの誘致活動に意欲的に取り組み、交流人口の拡大や経済効果に繋げていきたい。また、パイプオルガンの理解や価値を高めるイベントを中心に、コンサートホールの特性を活かした企画を実施していく。

評価項目及び評価基準		所管課 評価
1 住民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること。		
施設の管理運営方針について		B
平等な利用の確保とサービスの向上を図る具体的な取組みについて		B
他施設や市、地域との交流・連携について		B
施設利用者の要望や意見の把握及び対応について		B
2 公の施設の効用を最大限に発揮させるとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。		
施設の有効活用、利用者増への取組みについて		B
施設の効率的運営、経費縮減のための取組みについて		B
事業内容について		B
施設維持管理について		B
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。		
安定的な運営が可能となる人的能力について		B
市への納付金支払額について		
施設管理の安全性（個人情報保護の取組みについてを含む）及び緊急時の対応について		B
収支計画の実現可能性について		B
団体の安定性、継続性について		B
【評価基準】 A（優 良） 計画書等を上回る優れた施設運営が行われた B（適 正） 計画書等に沿った施設運営が行われた C（課題有） 概ね計画書等に沿った施設運営が行われたが課題がある D（要改善） 計画書等の水準に達しない施設運営であり、改善の必要がある		
【市の総合評価】 B 施設の運営管理等について、協定書、仕様書、事業計画書に基づき適正に行われている。また、大会誘致や各種スポーツ・文化教室事業にも意欲的に取り組み、地域のスポーツ・文化活動への貢献に努めている点が評価できる。一方で、「施設の効率的運営、経費縮減のための取組みについて」「収支計画の実現可能性について」は、単なる経費削減にとどまらず、コンサートやイベント等が集客につながるような工夫をこらすとともに、周知方法についても、SNSを積極的に活用し、計画どおりの収入を確保できる仕組みづくりを構築いただきたい。また、今後も物価や人件費の高騰が見込まれることから、施設利用料等の適切な見直しを検討いただきたい。「団体の安定性、継続性について」は、施設長会議や全体会議を継続し、組織の課題や財政状況を全体で共有することで職員の更なる意識改革を図るとともに、業務内容・業務分担・業務手順の見直しを行い、標準化・効率化を進めてほしい。		
【指摘事項】		